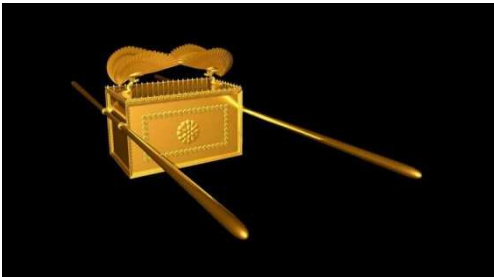


## ✠040 契約の箱 Ark of the Covenant

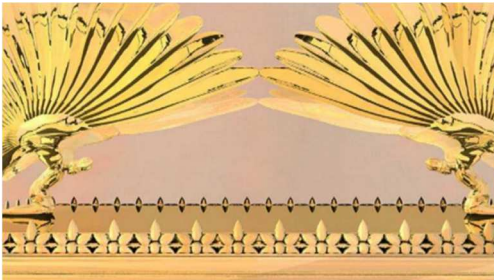
契約の箱とは、『旧約聖書』に記されている、十戒が刻まれた石板を収めた箱のことである。

アカシアの木で作られた箱は櫃本体の寸法は、長さ 2.5 アンマ（口語訳：キュビト、約 45cm）、幅 1.5 アンマ、高さ 1.5 アンマ（112.5×67.5×67.5cm）で、装飾が施された。また、地面に直接触れないよう、箱の下部四隅に脚が付けられている。持ち運びの際、箱に手を触れないよう二本の棒が取り付けられ、これら全てが純金で覆われている。そして箱の上部には、金の打物造りによるケルビム cherubim 二体が乗せられている。（参考：出エジプト 25：10～22）

### 契約の箱（イメージ）



契約の箱の蓋は 2 人の天使（ケルビム）の像で飾られ、広げた翼の先が中央で触れ合うように配置された。一年に一度の贖罪の日、大祭司はここで贖罪の献げ物の血をささげた。



### 贖いの座

「わたしは掟の箱の上の一对のケルビムの間、すなわち贖いの座の上からあなたに臨み、わたしがイスラエルの人々に命じることをことごとくあなたに語る。」（出エジプト記 25：22）

契約の箱の蓋は 2 人の天使（ケルビム）の像で飾られ、広げた翼の先が中央で触れ合うように配置された。一年に一度の贖罪の日、大祭司はここで贖罪の献げ物の血をささげた。

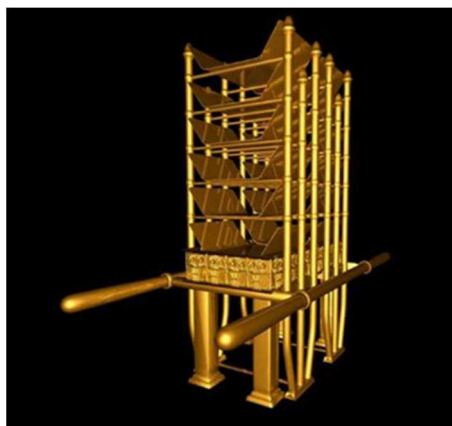


契約の箱の中には、十戒を記した石版、アーモンドの花のついたアロンの杖、マナが納められた金の壺が入っていた。

契約の箱は、モーセがイスラエルの民を率いてカナンを目指していた時代には、祭司たちが担いで移動しました。宿営する場合は、幕屋と呼ばれる移動式の神殿に安置しました。その後、契約の箱はイスラエルの民と敵対していたペリシテ人に奪われましたが、伝染病などの災厄がペリシテ人を襲ったため、イスラエルの民のもとに送り返された。

『旧約聖書』ではエレミヤ書 3：16 の契約の箱の記述を最後に、比喩的に用いられる以外に直接言

及される部分はなく、失われた経緯についても不明である。このことから、失われたアーク (The Lost Ark) とも呼ばれる。



供えのパンを置く机（出エジプト 25 : 23～30）



燭台（出エジプト 25 : 23～30）

アーモンドの木の葉と花をデザインした。  
柱の上に、小さな素焼きのともし火皿を置く。

